

北本市立地適正化計画 市民アンケートについて

議題(2) 北本市立地適正化計画の策定について

市民アンケート調査報告

■市民アンケート概要

【実施目的】

「立地適正化計画」の検討に向けて、市民の皆さまの普段の行動や、これからのまちづくりに対するお考えなどをお聞きし、計画づくりに反映させることを目的としてアンケートを実施

[実施期間] 令和6年9月19日（木）～10月11日（金）

[対象者] 令和6年9月1日時点において北本市在住の18歳以上の市民2,000人

※対象者は無作為抽出により選定

[調査方法] 調査票は紙面にて郵送し、回答は紙面回収またはWeb

[回収数] 895票（紙面704・Web191）（回収率： 44.8 %）

市民アンケート調査報告

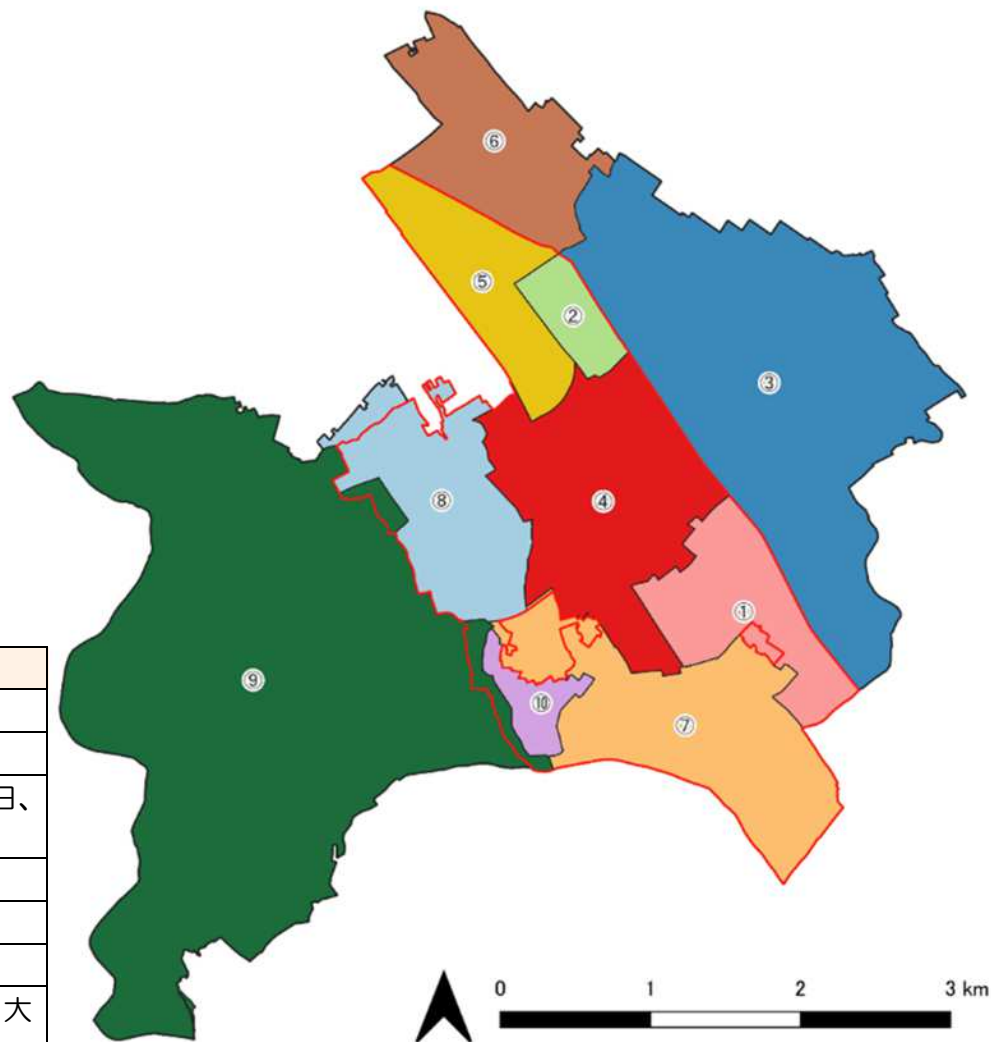
■地域別の集計について

都市計画マスタープランの8つの地域区分を基に、中丸地域、東地域、東間深井地域については市街化区域と市街化調整区域で分割し、東地域と中丸地域の市街化調整区域については得票数の関係で1つにまとめた10地域とする。

《地域区分》

地域名		市民アンケート町丁目
①	中丸地域（市街化区域）	中丸 1～7 丁目
②	東地域（市街化区域）	宮内 1～3 丁目
③	中丸地域・東地域（市街化調整区域）	宮内 4～7 丁目、古市場、山中、朝日、北中丸、中丸 8～10 丁目
④	中央地域（市街化区域）	本宿、北本、中央、緑
⑤	東間深井地域（市街化区域）	深井 1～2 丁目、東間
⑥	東間深井地域（市街化調整区域）	深井 3～8 丁目
⑦	南部地域（市街化区域）	二ツ家、大字北本宿、大字下石戸上、大字下石戸下、下石戸
⑧	本町西高尾地域（市街化地域）	本町、西高尾
⑨	西部地域（市街化調整区域）	石戸、石戸宿、荒井、高尾
⑩	公団地域（市街化区域）	栄

《地域区分図》

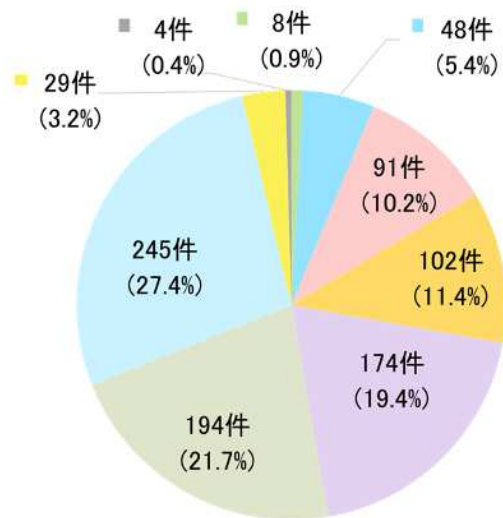


市民アンケート調査報告

■回答者の属性

- ・回答者の年代は、70代が245件（27.4%）と最も多く、次いで60代が194件（21.7%）となっています。
- ・居住地は、「中央地域（市街化区域）」が178件（20.0%）と最も多く、次いで「南部地域（市街化区域）」が121件（13.6%）となっています。
- ・「住み始めて20年以上」が620件（69.3%）と最も多くなっています。

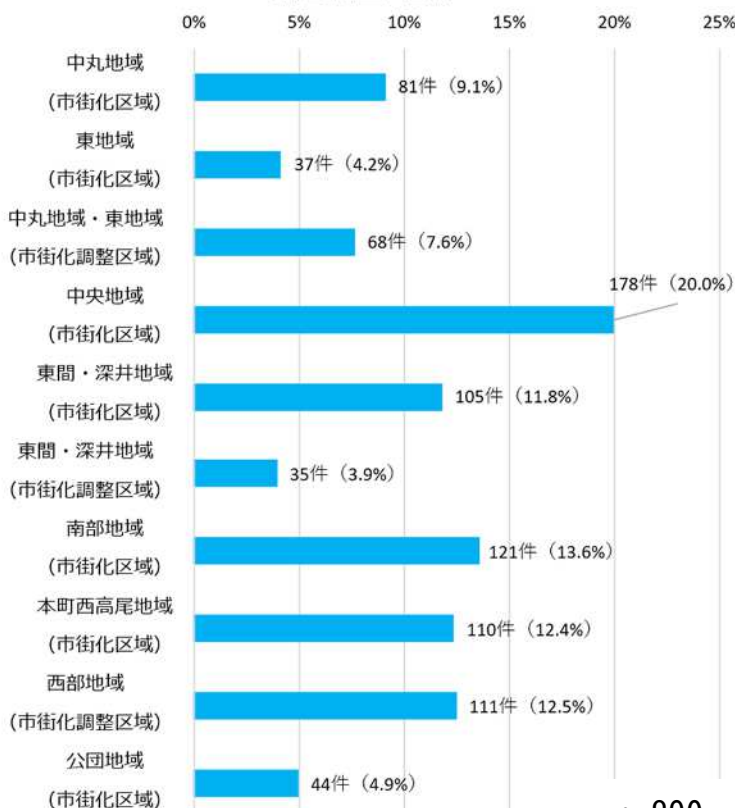
《年齢》



n=895

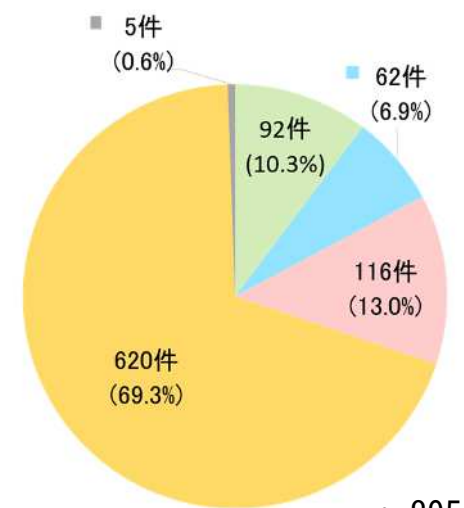
- 19歳以下
- 20歳～29歳
- 30歳～39歳
- 40歳～49歳
- 50歳～59歳
- 60歳～69歳
- 70歳～79歳
- 80歳以上
- 未回答

《居住地》



n=890

《居住年数》



n=895

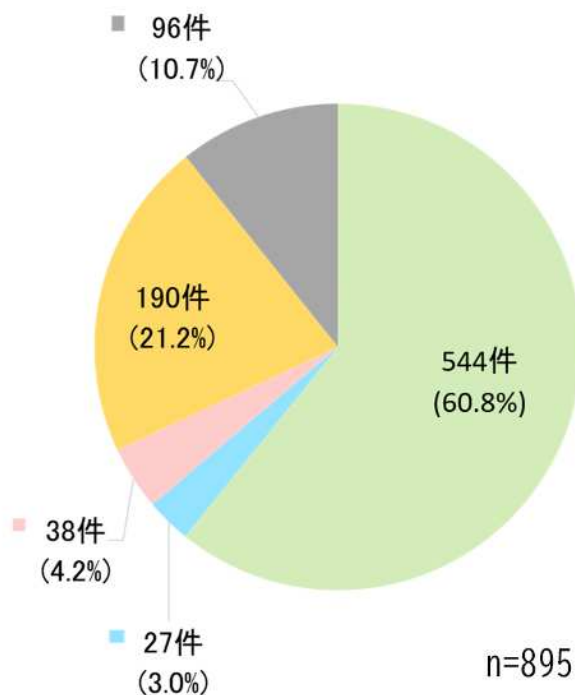
- 住み始めて5年未満
- 住み始めて5年以上10年未満
- 住み始めて10年以上20年未満
- 住み始めて20年以上
- 未回答

市民アンケート調査報告

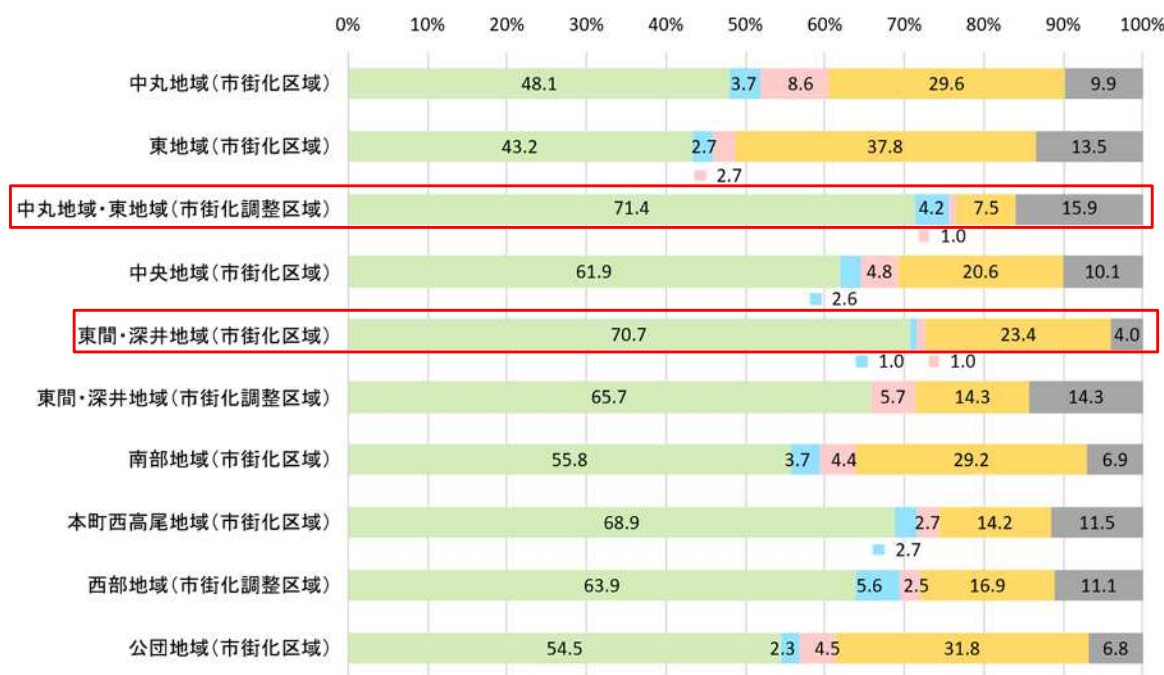
■居住意向について

- ・居住意向は、「今の場所に住み続けたい」が544件（60.8%）と最も多くなっています。
- ・地域別にみると、「中丸地域・東地域（市街化調整区域）（71.4%）」、「東間・深井地域（市街化区域）（70.7%）」で割合が高くなっています。

《居住意向》



《地域別の居住意向》



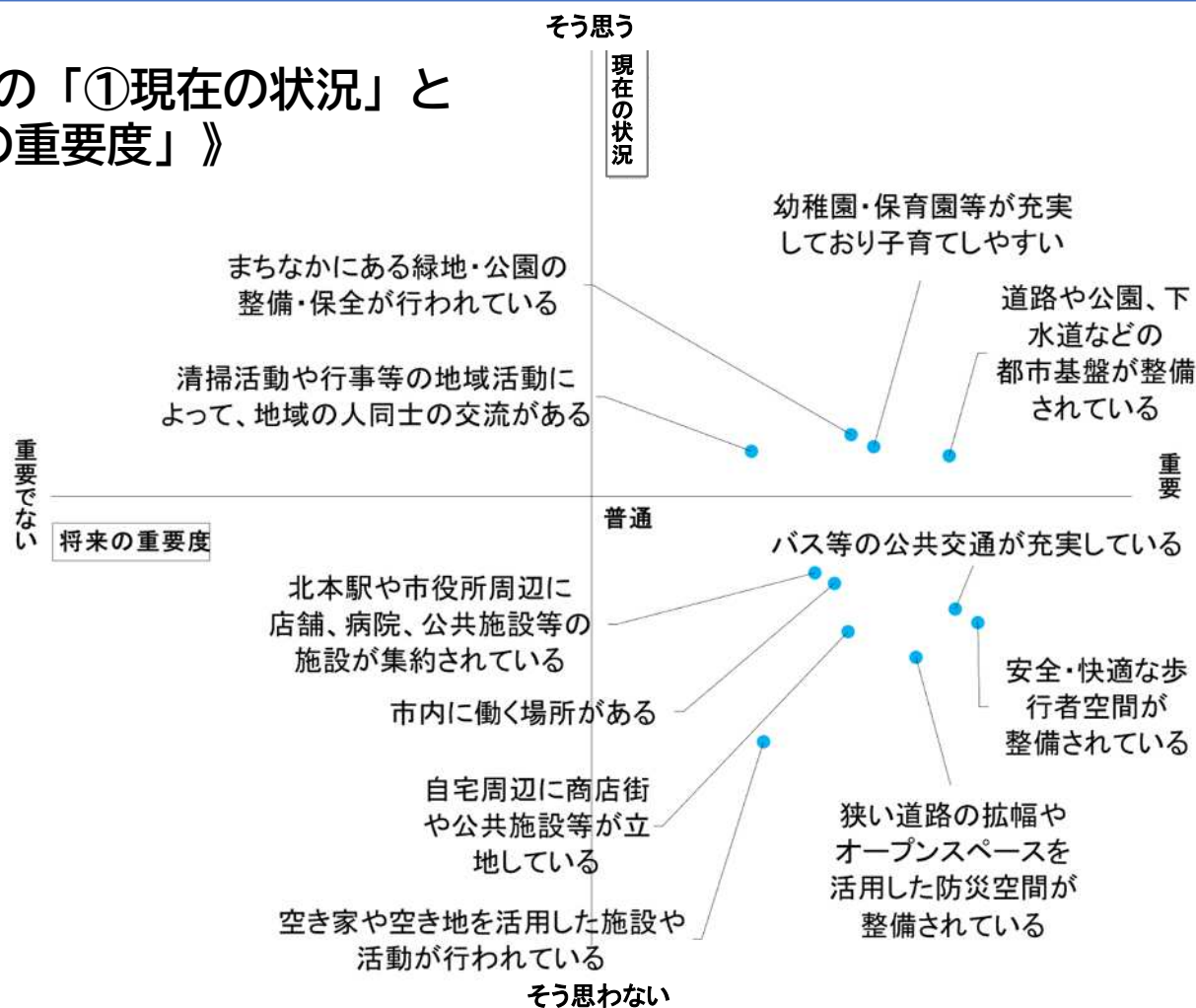
■今の場所に住み続けたい ■市内で他の場所に移りたい ■市外に転出したい ■分からない、未定 ■未回答

市民アンケート調査報告

■まちづくりの取組について（現状の評価×将来の重要度）

- ・すべての項目で「②将来の重要度」が「①現在の状況」を上回っています。
- ・「バス等の公共交通が充実している」等の設問では、現在の状況にあまり満足していませんが、将来的に重要であるとされています。

《まちづくりの取組の「①現在の状況」と「②将来の重要度」》

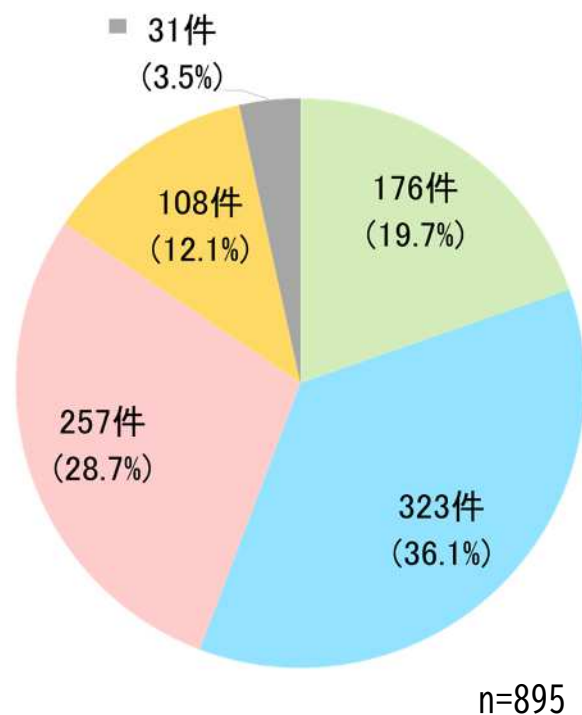


市民アンケート調査報告

■自宅からバス停や駅まで歩ける時間について

- ・自宅からバス停・駅まで歩ける時間は「5～10分程度」が323件（36.1%）と最も高くなっています。
- ・「0～5分程度」・「5～10分程度」と比較的短時間の割合が高い地域は、「東間・深井地域（市街化調整区域）（68.5%）」です。

《自宅からバス停や駅まで歩ける時間》



0～5分程度

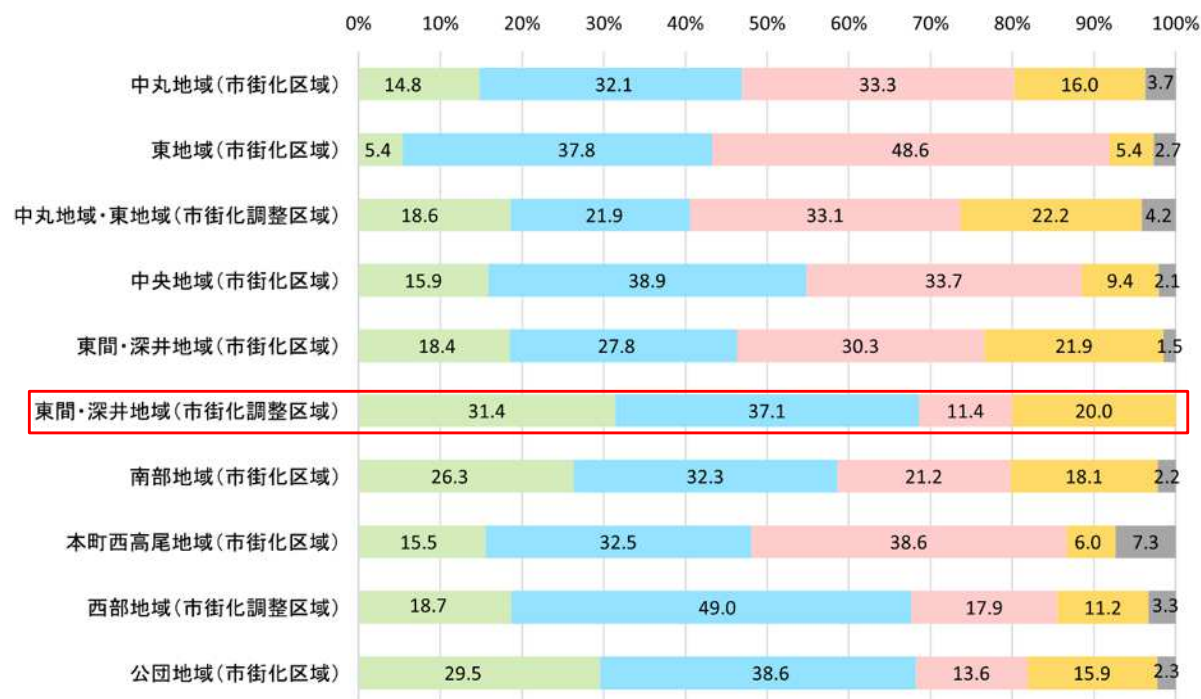
5～10分程度

10～15分程度

15分以上

未回答

《地域別の歩ける時間》



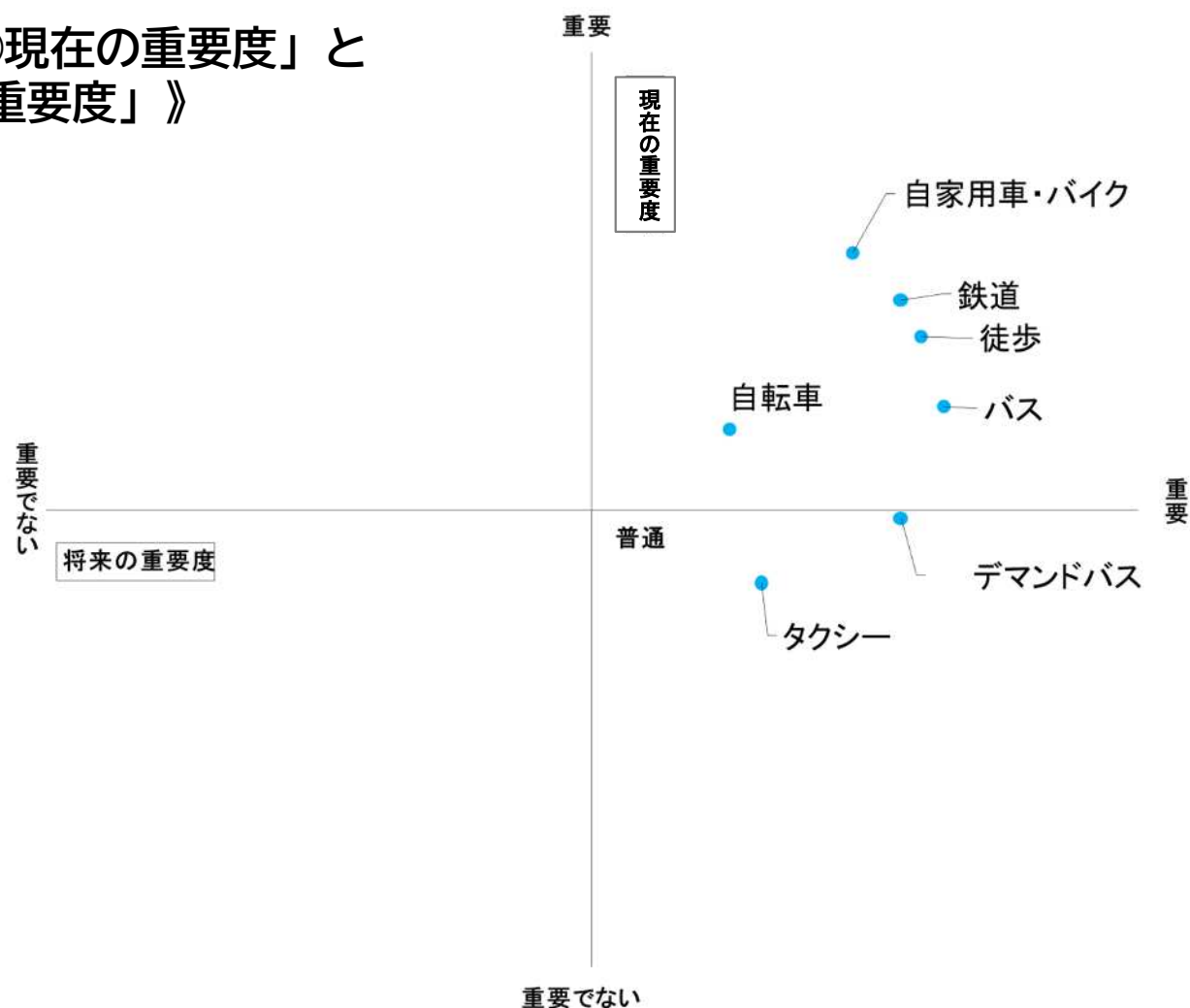
n=890

市民アンケート調査報告

■各交通手段の重要度について（現在の重要度×将来の重要度）

- ・「デマンドバス」や「タクシー」は、現在の重要度は普通を下回っていますが、将来的には重要な交通手段にあげられています。

《各交通手段の「①現在の重要度」と
「②将来の重要度」》

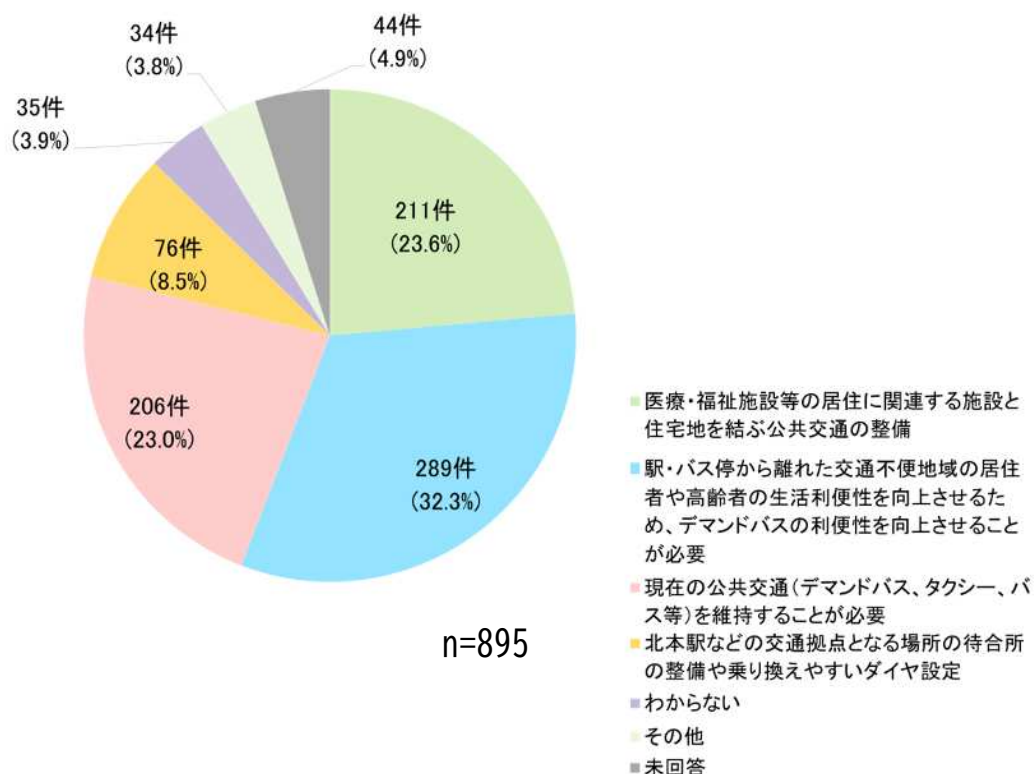


市民アンケート調査報告

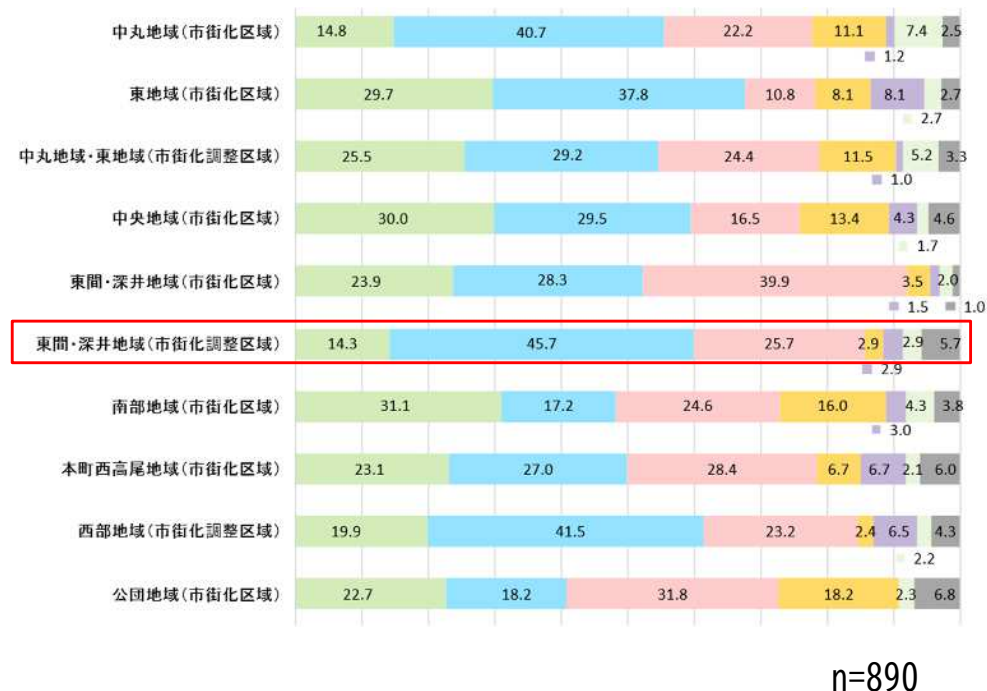
■公共交通において力を入れていくべき取組について

- ・「駅・バス停から離れた交通不便地域の居住者や高齢者の生活利便性を向上させるため、デマンドバスの利便性を向上させることが必要」が289件（32.3%）と最も多くなっています。
- ・地域別では、「東間・深井地域（市街化調整区域）（45.7%）」でその割合が高くなっています。

《公共交通において力を入れていくべきもの》



《地域別力を入れていくべきもの》

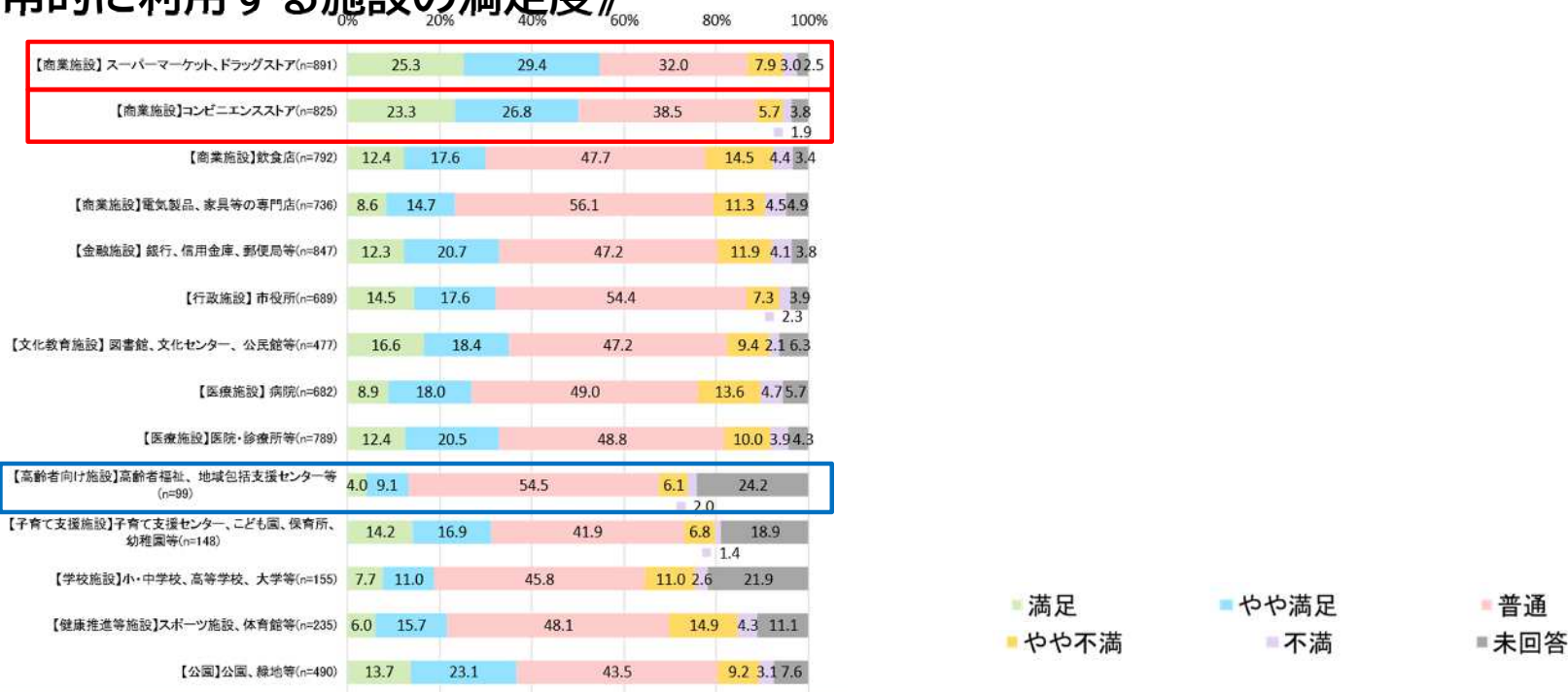


市民アンケート調査報告

■日常的に利用する施設の満足度について

- ・「満足」・「やや満足」の割合が「やや不満」・「不満」を下回る施設はなく、一定の満足度は得られている状況です。
- ・「満足」・「やや満足」の割合が高い施設は、【商業施設】スーパーマーケット、ドラッグストア（54.7%）、【商業施設】コンビニエンスストア（50.1%）です。
- ・一方で、「満足」・「やや満足」の割合が低い施設は、【高齢者向け施設】高齢者福祉、地域包括支援センター等（13.1%）です。

《日常的に利用する施設の満足度》

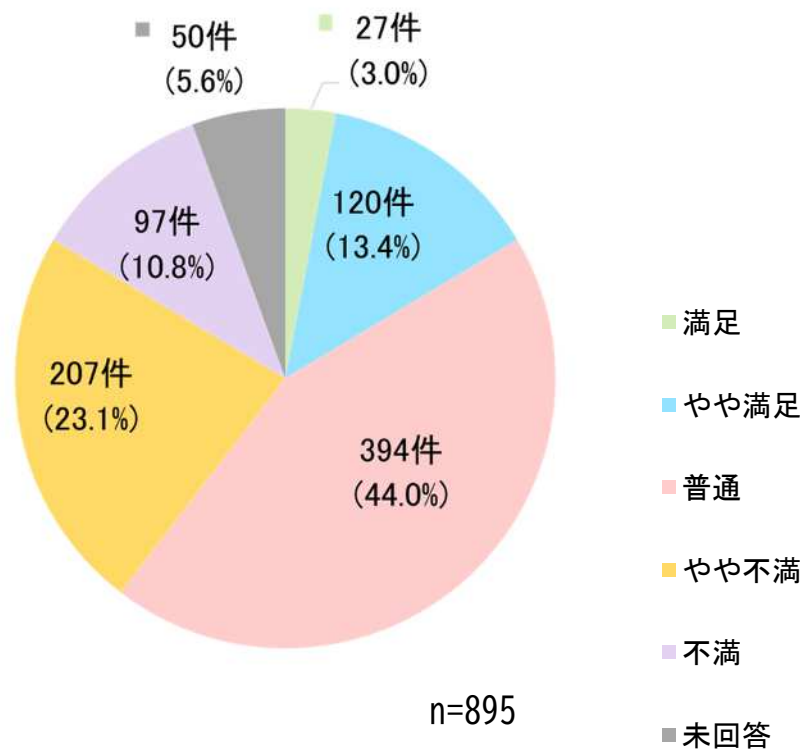


市民アンケート調査報告

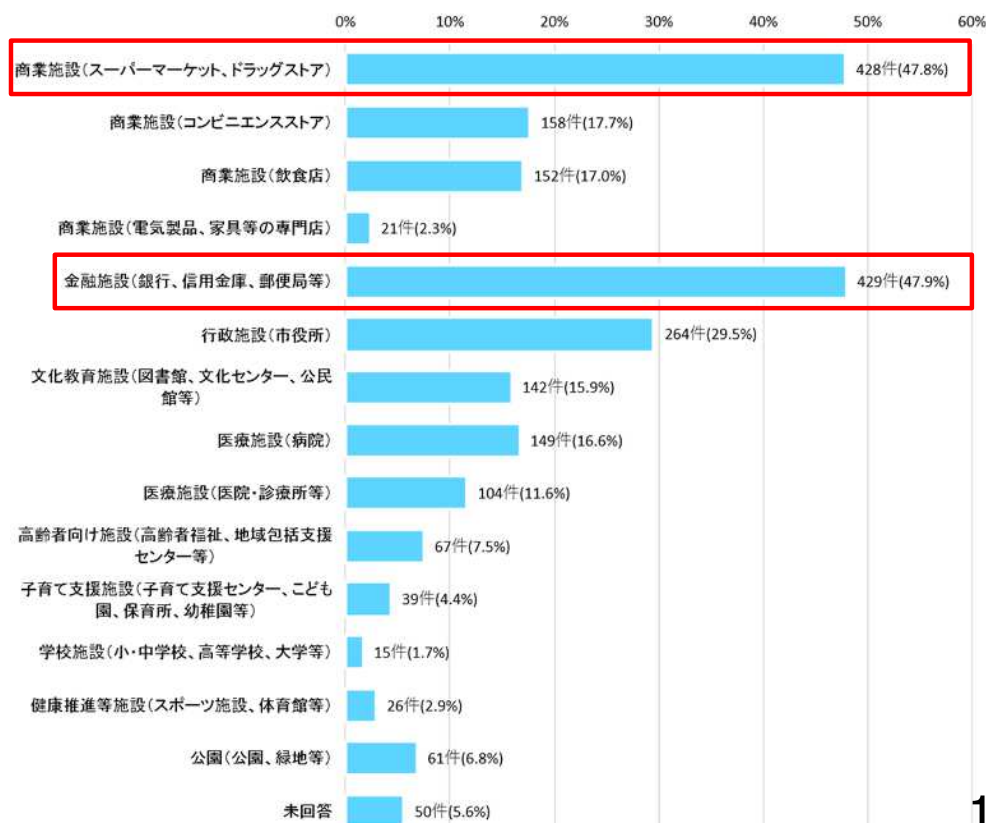
■北本駅・市役所周辺の満足度について

- ・満足度は、「普通」が394件（44.0%）と最も多くなっています。
- ・『ないと困る施設』は「金融施設（銀行、信用金庫、郵便局等）」が429件（47.9%）に最も多く、次いで「商業施設（スーパーマーケット、ドラッグストア）」が428件（47.8%）となっています。

《北本駅周辺のまちづくりの満足度》



《北本駅や市役所周辺に「ないと困る施設」（複数回答）》

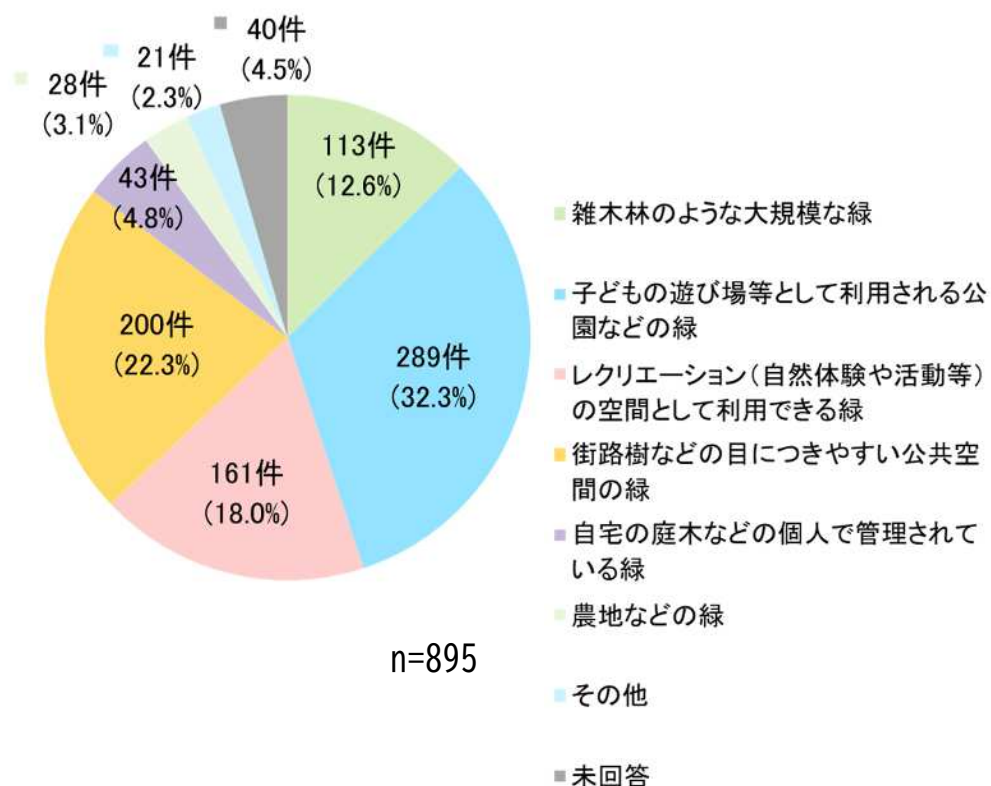


市民アンケート調査報告

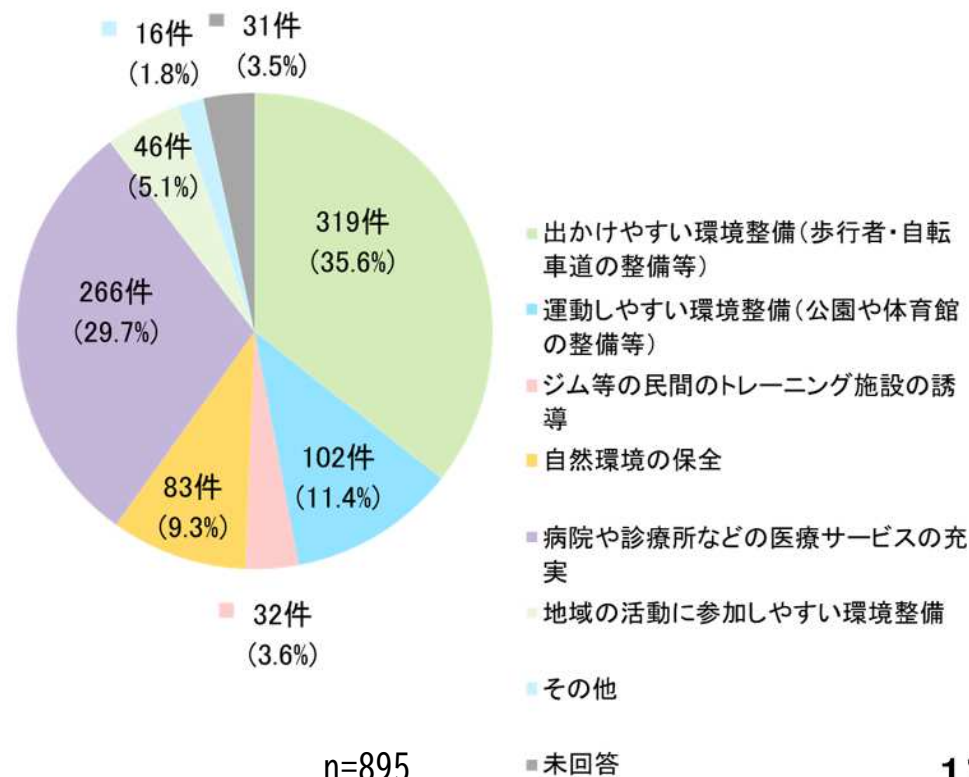
■ 居住環境について

- ・ 居住環境にあると良い緑は、「子どもの遊び場等として利用される公園などの緑」が289件（32.3%）と最も多くなっています。
- ・ 健康に暮らせるための取組は、「出かけやすい環境整備（歩行者・自転車道の整備等）」が319件（35.6%）と最も多くなっています。

《自宅周辺の居住環境にあると良い緑》



《健康に暮らせる居住環境づくりのための取組》

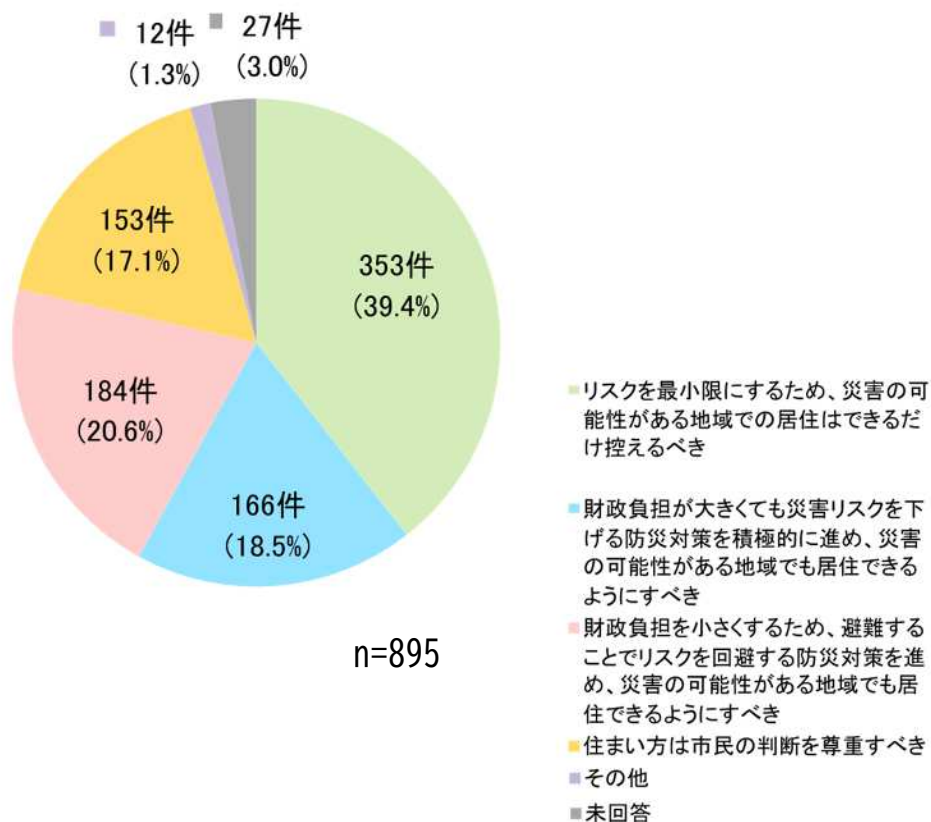


市民アンケート調査報告

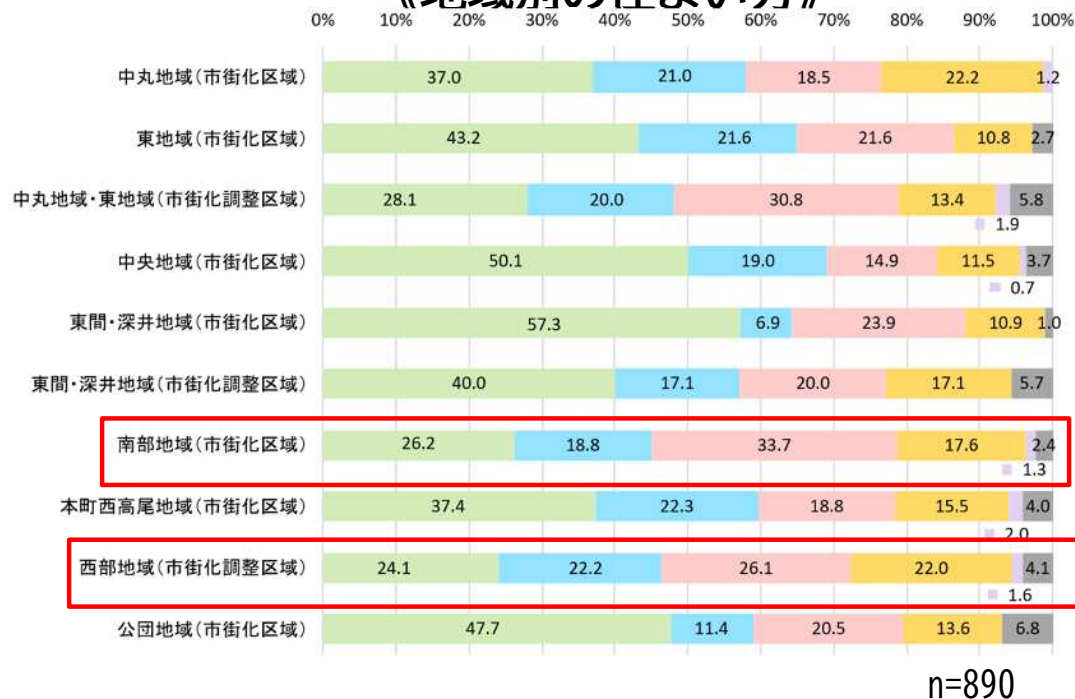
■災害の可能性がある地域での住まい方について

- ・「リスクを最小限にするため、災害の可能性がある地域での居住はできるだけ控えるべき」が353件（39.4%）と最も多くなっています。
- ・地域別も同様の傾向がありますが、災害リスクのある「南部地域（市街化区域）」や「西部地域（市街化調整区域）」ではその割合が低くなっています。

《災害の可能性がある地域での住まい方》



《地域別の住まい方》



市民アンケート調査報告

■北本市のまちづくりについて（自由記述）

《施設に関すること》

- ・大型商業施設、映画館、スターバックスなど、若者が利用する施設をもっと作ってほしい。
- ・南部地域の金融機関、病院の充実。

《交通に関すること》

- ・市内巡回バスを増やして、病院、スーパー等、自家用車に乗れない人でも暮らしやすいようにしてほしい。
- ・デマンドバスに加えタクシー、バス等への行政の支援を手厚くしていただきたいと思う。

《防災に関すること》

- ・ハザード指定されている、朝日や栄周辺の排水対策を検討するべきであると考ええる。
- ・避難所が遠かったり、また水害に遭いそうな場所にあったりしているので避難所を分散し災害時に避難所に行きやすい環境が必要だと思う。

《居住に関すること》

- ・空き家が大変増加しているので、空き家対策をしてほしい。